

認知症支援・介護予防センターは、これからの介護予防・認知症について共に考え、活動につなげていく場です

栄養ラボ～食に関する情報コーナー

介護食や減塩食品の紹介、フードモデル展示をはじめ、管理栄養士が食の様々な相談に応じます。また、各種専門職による相談や講演会も実施しています(月2回)。

カフェ・オレンジ(認知症カフェ)

認知症の人や家族だけでなく、認知症について学びたい方など、誰でも気軽集える場所です(常設)。

情報コーナー

認知症や介護予防に関する専門書や最新図書、講座・イベント情報などを準備しています。カフェ・オレンジ内でゆっくりご覧いただけます。

事務室

センターが行う事業のご案内や申込み、団体登録などをお受けします。また、各種専門職(保健師、栄養士、健康運動指導士など)が相談に対応しています。

センターの活動目的：ビジョン&ミッション

北九州市では、急速に高齢化が進む中、地域の中で、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

認知症支援・介護予防センターは、その実現のため、いくつになってもこの街で自分らしくいきいきと暮らせる特色ある地域づくりを目標に、地域に関わる様々な団体がその垣根を越えて集い、「これからの介護予防・認知症について共に考え、活動につなげていく場」としての役割を担っていきます。



多目的ルーム

健康維持のための体操や、映像・音楽にあわせた運動などに利用できる多目的スペースです(利用には団体登録が必要)。

定員:30名程度
付属部品:テレビ、DVDプレイヤー、マイク
ホワイトボード、運動マット

認知症・介護家族コールセンター

認知症の本人や家族がかかえる不安や悩みなどについて、認知症介護の経験者が相談に応じます(面接相談できます:要予約)。

研修室

映像を使った講座や発表会などに利用できるスペースです(利用には団体登録が必要)。

定員:35名程度
付属部品:プロジェクター、スクリーン、マイク、ホワイトボード

活動ルームA・B

認知症・介護予防に関わる専門職、ボランティアなどが会議や勉強会の場として利用できる活動スペースです(利用には団体登録が必要)。

定員:(活動ルームA)15名程度/(活動ルームB)25名程度
付属機器:ホワイトボード

人材育成

「認知症サポーター」や「健康づくり推進員」の養成講座、北九州市が独自に開発した「きたきゅう体操・ひまわり太極拳・公園で健康づくり」の普及員養成講座など。

地域活動の支援

様々な活動の場に運動・栄養・口腔分野の専門職を派遣し、効果的な介護予防方法の紹介。地域での高齢者の見守りやネットワークづくり、行方不明者の搜索模擬訓練の実施支援など。

情報の収集と発信

認知症や介護予防に関する最新情報、介護予防の取組方法、地域の活動の紹介など。

地域包括ケアシステムの実現を目指して

地域の関係機関・団体が協働し、いくつになってもこの街でその人らしくいきいきと暮らせる地域づくりをサポートします。

